冬物語（1991）

CONTE D'HIVER
A TALE OF WINTER

メディア 映画
ジャンル コメディ　ロマンス
製作国 フランス
色彩 Color
時間 114分
初公開日 1992/12/19
公開情報 シネセゾン＝テレビ東京提供／シネセゾン

【キャッチコピー】
うれしくて、泣き出しそう！

【解説】
もう冒頭から泣けちゃうくらいにロメール調。なんせヒロイン、フェリシー（“至福”という意味）は、ヴァカンスを送ったブルターニュの海で運命的な愛を確かめあった相手シャルルに、間違った住所を伝える大ポカをしでかし、五年もの間離ればなれ。彼との愛の証エリーズは四つになるのに……。さて舞台は冬のパリ。美容院勤めの彼女は離婚ホヤホヤの経営者に結婚を迫られるが、彼女には図書館員ロイックもご執心。あまり気の乗らない“どちらにしようかな”状態に戸惑うが……。オチはもちろん期待通りになる。しかし、その偶然の見事な積み重ね、流れる語り口に舌を巻く名匠ロメールの“四季の物語”シリーズ第二弾。ベースになるのはシェークスピアの『冬物語』。この、見知らぬ地で死んだとされた女王の復活劇を主人公が観て涙する場面もある。無論、自分の不運を女王に重ね合わせて泣くのだ。映画デビューのシャルロット・ヴェリのドジでマヌケでそのクセ聡明な所のある愛すべき圧巻なヒロインぶりに感謝！

【クレジット】

監督	エリック・ロメール	Eric Rohmer
製作	マルガレート・メネゴス	Margaret Menegoz
脚本	エリック・ロメール	Eric Rohmer
撮影	リュック・パジェス	Luc Pages
音楽	セバスチャン・エルムス	Sebastien Erms
出演	シャルロット・ヴェリ	Charlotte Very
	フレデリック・ヴァン・デン・ドリエッシュ	Frederic van den Driessche
	ミシェル・ヴォレッティ	Michel Voletti
	エルヴェ・フュリク	
	アヴァ・ロラスキー	
	マリー・リヴィエール	Marie Riviere
	ロセット	Rosette

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.